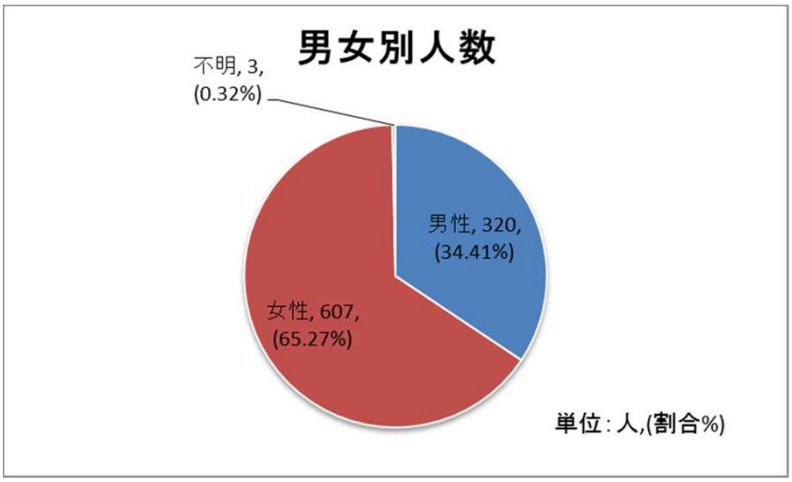
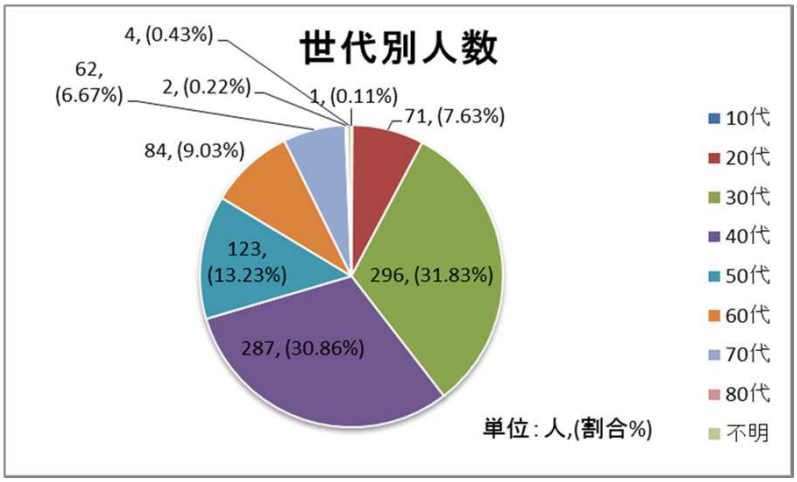
第3回eモニターアンケート「木造住宅無料耐震診断について」

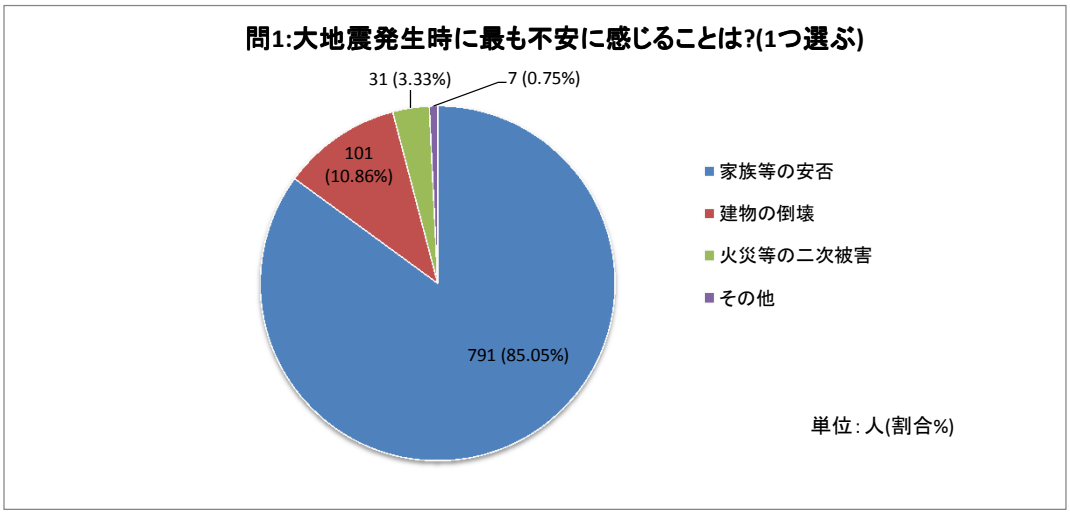
実施期間　　平成26年7月10日 ～　平成26年7月19日

送信数　　1,356 人
有効回答数　　930 人

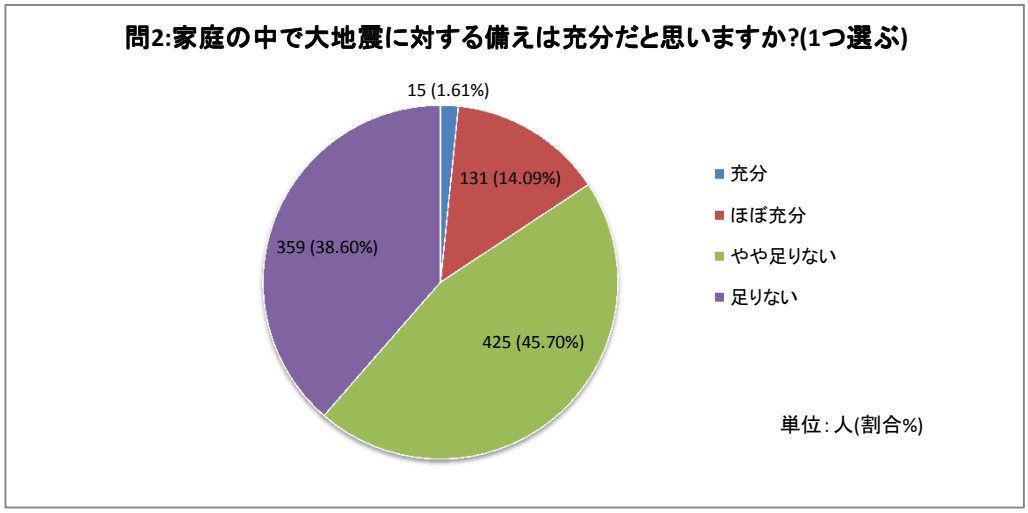
回答率　　68.58%

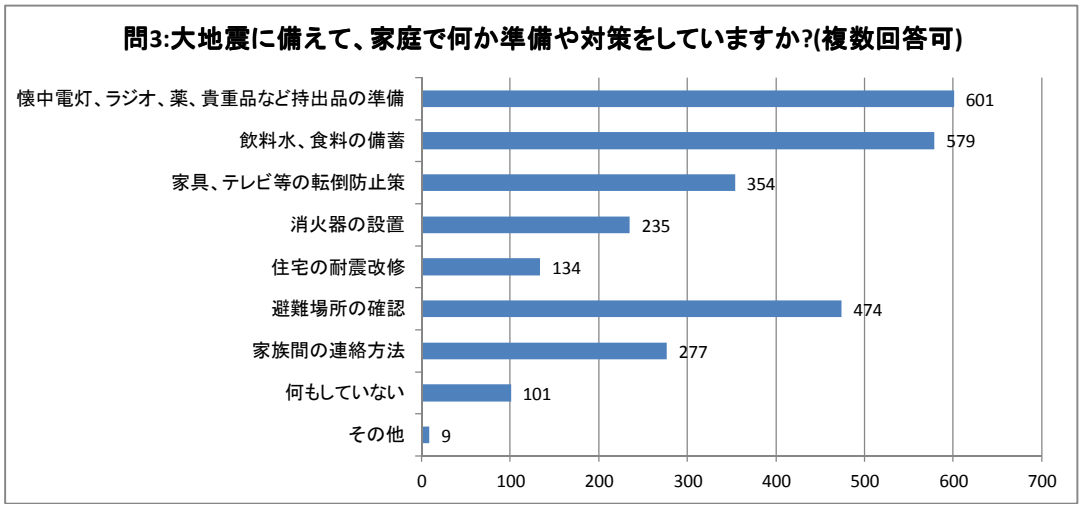




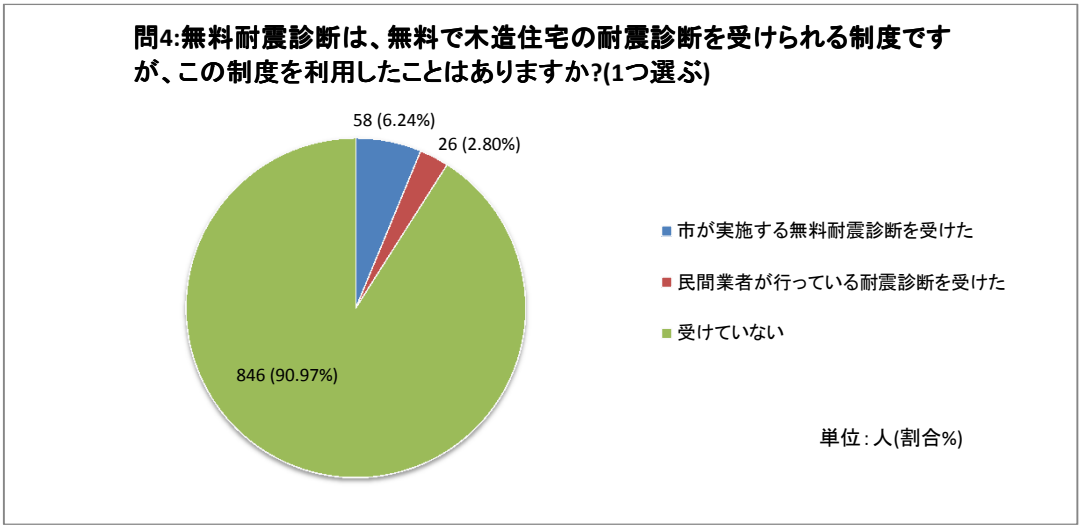


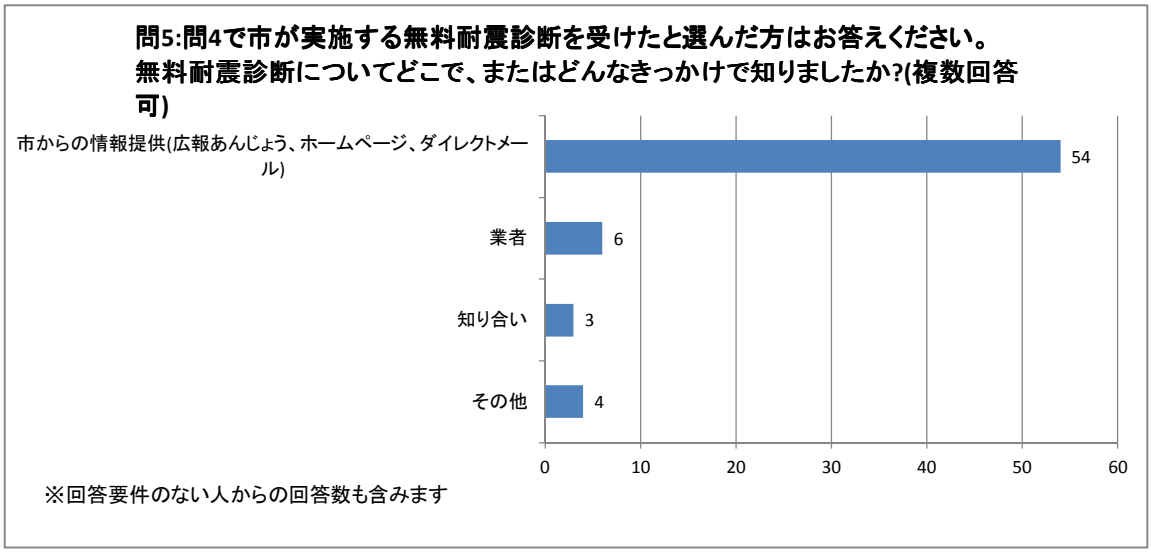
主なその他回答
- ライフランの復旧
- 避難か救助か。非常持ち出し袋を持ち出せるか。
- 持病の薬の配給
- 飲料・生活用水の確保。
- 障害者故の避難やその後のケア
- 帰路の確保



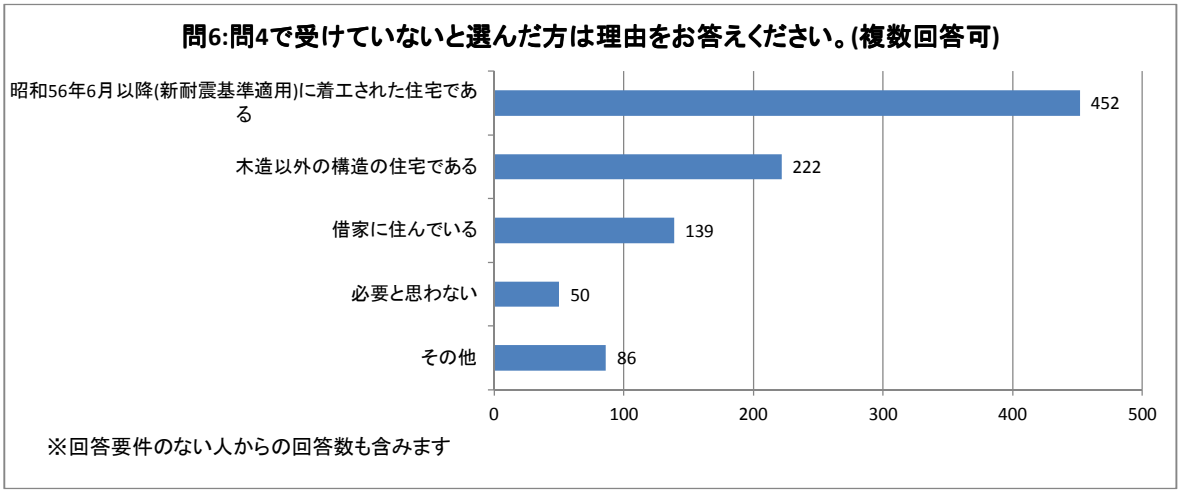


主なその他回答
倒壊家屋の破壊工具、道具。ブロック塀の改修
大きい地震の時にブレーカーがおちる道具



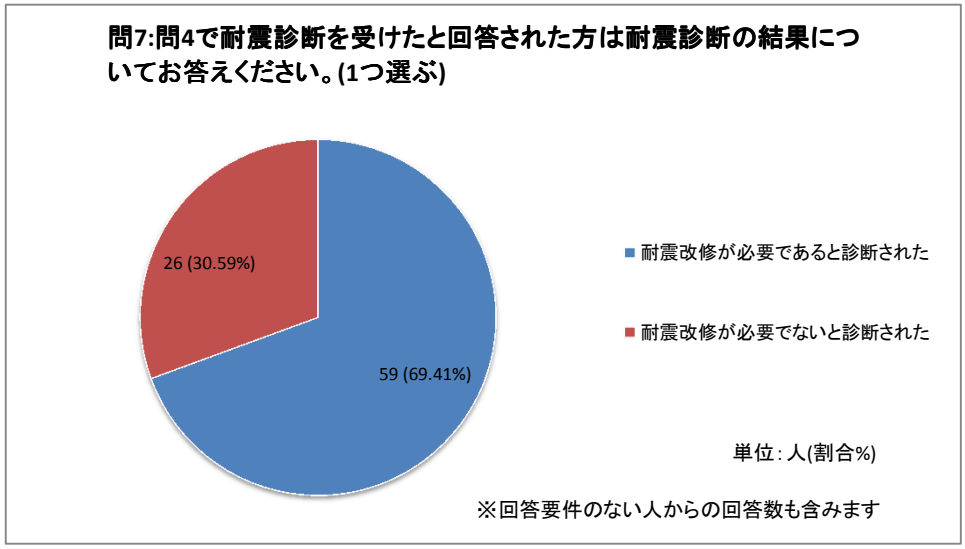


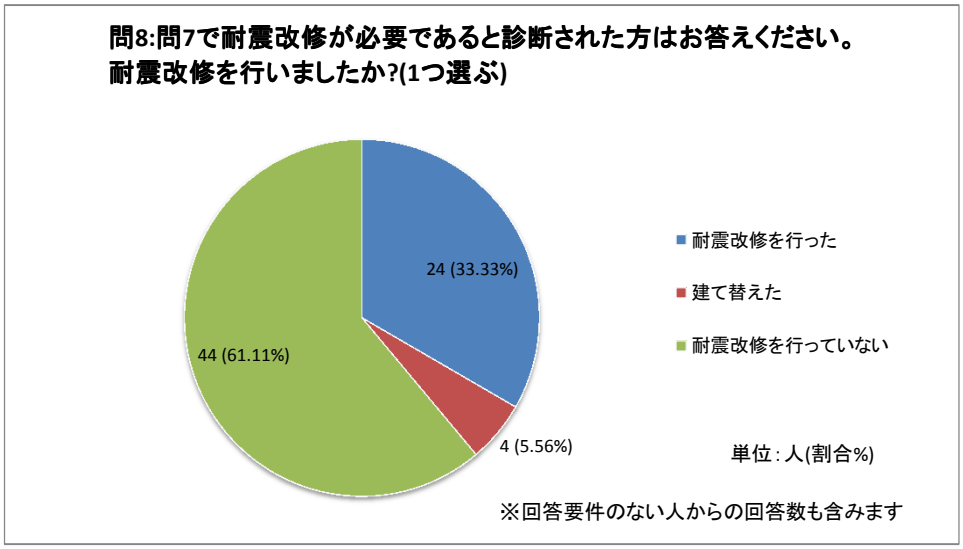
主なその他回答
TV
自分で調べた

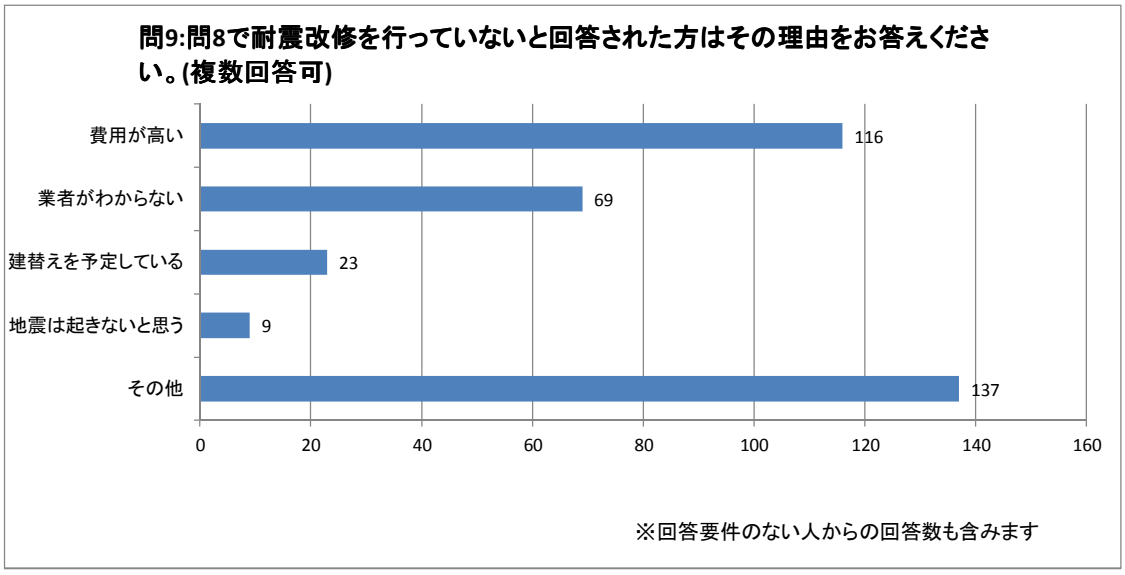


主なその他回答
大工さんが対策をしておいてくれたから
耐震住宅に換えるお金がない
地震の強度が不明なのに壊れない家屋が不明。
診断した結果が悪くても改修費用が掛かるため
区画整理にて建て替える事が決まっており、現在住んでいる家を改修する程、金銭に余裕がない。
機会を逃している
建替えなどを検討中
あまり深く考えていなかった
そろそろ行わなければと思っております
両親の代なので任せている
診断を受ける費用すらない
制度を知らなかった。
リフォームした際に確認済み
古い家で耐震工事の費用がかかりすぎる
桜井地区の都市計画区域で移転の話があるも遅れていると理由で何年も待たされている状態。
どこに連絡したらいいかわからない
都市計画で移転予定
調べてもらえるとは知らなかった
区画整理事業のため改造に躊躇しているため
制度のことを知らなかった
2001年に木造住宅用の耐震補強を既に行った為。
ほかりっぱなしになっている
現在空き家となっている。
めんどくさそうなので
親が承知しないため
48年建築であり、結果が予想できるから。
家族(親の)意見
リフォーム時に検査済み
建て直すつもりでいたが、諸般の事情で実施できていない。
リフォーム時に耐震改修を行った
診断を受けたかったが日程が合わなかった

無料とは知らなかった
近く新築予定
古い家なので、耐震改修が必要なことだと分かっているから
ついつい後回しにしてしまう
無料診断の後耐震工事を勧められ、断れなさそうだから。







主なその他回答
修復出来ない場合は子供たちのところへ転出
耐震のリフォームを予定している。
耐震補強を予定している
耐震結果を預けた業者が書類をなくしてしまった
なかなか行動におこせない。
提案された対策を行えば本当に倒壊しないのかが疑問
横屋の方まで直す余裕がない。(耐震診断は横屋を対象とした)
改修を行うのであれば徹底したい。→地盤改良が必要
盛り土ため、地盤改良が必要と思われる
別棟で鉄骨建てが有り独居でも有り、木造棟の改修を見送っている
改修をしようと考えているが、家庭の事情でまだ行っていない。

問10:地震時の建物倒壊による被害を減らすために、市は補助金による耐震改修促進以外にどのような取り組みが有効と考えますか?
主な回答
補助を出している事を知らない人が多いと思われる。
該当住宅に対して働きかけをしては。

倒壊による被害の実例をもっと公表する。

独り暮らしのお年寄りなど、自分から建物改修を申請するのが難しい方へ市の方から働きかけて頂くといいのではと思います。

耐震住宅への建て替えをした世帯に対して、税率を下げる等を実施する。

耐震診断に補助金を行う。
建物の老朽化している所有者に対策をとるよう指導を徹底する。倒壊した時に近所迷惑になることも伝える。

現状は家屋全体の改修を対象にしていると思うが、「耐震シェルター」、「レスキュールーム」等の部分改修の啓発、補助等も考慮に入れたら如何か?

具体的な例を挙げ、改修方法を示す。

無料耐震診断や改修の補助について、知らない人も多いと思うので
それを周知させる必要があると思う。

耐震診断＆耐震改修の義務化
市役所は建築許可、する前に、地盤調査を(建築家、メーカー、工務店)指示し調査結果を、市役所にある、過去の資料を参考に、地盤の改良、補強指導等をした後、建築許可をすると良いと思います。

難しいですね。
補助を必要としない人との不公平感が開くでしょうから、大々的にやれないのでは。
建物倒壊以外で備蓄食料・水を増やすとかより多くの市民が恩恵を得られるような取り組みが良いのではないでしょうか。

市民に、建物倒壊による被害がどのくらい起きるのか、それによって引き起こされる被害等を分かりやすく伝える事が必要だと思います。現に、今住んでいる地域は、新興住宅地と古くからの家が密集する地域が分かれており、我が家のまわりはココ数年に家が建てられた場所にあるので、倒壊の被害には危機感を持っていません。避難グッズや家具の倒壊と同じく、危険意識の植え込みが必要だと思います。

無人の住宅にも耐震を呼びかけたり、撤去を勧める。
倒れそうな植栽を伐採し、二次災害を避ける。

そのための都市計画だと思いますので、協力して移転します。

連鎖を避けるため住宅の密集を避ける

建物全部の耐震改修ではなくても、人命が助かる点を主に考えて、提案などをしたらと思う。価格の問題で諦め的な考え方もあると思われる。

空家対策(放置された古い家など)

耐震診断が必要そうな家には、直接伝えないと分からないと思う。その際、受けられる補助の説明もするといい。町内会や、学校を通して、アンケートをしたりして耐震診断が必要な件数を把握するのもいいと思う。

無料相談。実施された方の家屋の写真や費用、業者の評価、アドバイスなどの掲示。

花の木地区の区画整理は、地震に対しても道路が広くなり隣家との離隔もとれ耐震改修がその中で終わっていく。旧町内は、消防自動車も走行できない細い道路が多く早期の区画整理を実行されろことを願うものです。

補助制度をもっとわかりやすく、自己負担がどのくらいかかるか目安が解ると良いと思います。
診断のみで終わっても問題ないようにすると良いと思います。
気楽に診断が受けれるようにすると良いと思います。

桜井地区の区画整理が遅れている為、家の建て替えが出来ません。
地震がいつ来てもおかしくない状態で、このままあと何年待てばいいのでしょうか。早く区画整理を終わらせて下さい。

軽い屋根に直した時の補助金もほしいです。
刈谷市などのように非常持ち出し袋など希望者だけでも配布してほしい。

築〇〇年以上の建物の居住者に対し、防災講習を受講させる。

廃屋の撤去

登記上危ないと思われる家屋の持ち主に訪問するなどして、耐震徹底をお願いする。

業者任せにせず、実際にどんな工事が行われていて、いくら費用がかかっているのか、工事費用は適正か否か等、せっかくの補助金が業者の利益のみにならないよう きめ細かいサポートをお願いしたいです。

安城市は土地柄、近年はトヨタ関連で移住者が増えたが、代々続く方はそのままの土地建物を引き継ぎ住んでいる古い家屋も存在するので、出来れば訪問が望ましい。地盤が弱い地域ではないが、万が一の為、地元企業と連携強化を図り、地震の怖さを広く促すのが良いと思う。

倒壊の恐れがある地域・家屋を公表し、建物の倒壊による被害についての怖さをビデオ等で市民に意識づけをはかる。悪徳業者がはびこっているので市として業者認定をもっと厳密に行い市民の信頼を得る。

耐震改修の進んでいない地域など、マップ上で統計データを公開して欲しい。